

現場の臨場・巡視、確認検査のリモート化で負担を軽減！
～技術者・責任者等の人手不足緩和や生産性向上を実現～

「アナログ規制の見直し」とは？

- ✓ デジタル庁では、デジタル技術導入の障壁となる「アナログ規制」を見直す取組を推進
- ✓ これまでに、見直しが必要な規制の約98%（令和8年2月時点）の見直しが完了
- ✓ 建設・建築業界の関連規制でも、中間・完了検査や特定元方事業者による作業場所の巡視のリモート対応明確化、監理技術者等の専任規制合理化が実現

デジタル技術がもたらす業務変化

現場での目視確認

リモート確認



現場訪問が必須

アナログ規制によりリモートでの対応が困難であり、移動負荷が大きい

現場への移動時間を大幅削減
人手不足緩和・生産性向上
若手の育成にも効果あり
若手のOJT・技術習得への活用も

デジタル技術の活用による経済的効果

※NRI試算

検査機関がリモート検査を実施した場合の年間コスト削減イメージ

※現地での完了検査を年間10,000件行う検査機関が100%リモート検査で代替した場合

訪問回数 1回/件	×	移動時間 往復2H	×	現場数 10,000件	=	年間の効果 20,000時間削減 (人件費8,000万円相当)
--------------	---	--------------	---	----------------	---	---------------------------------------

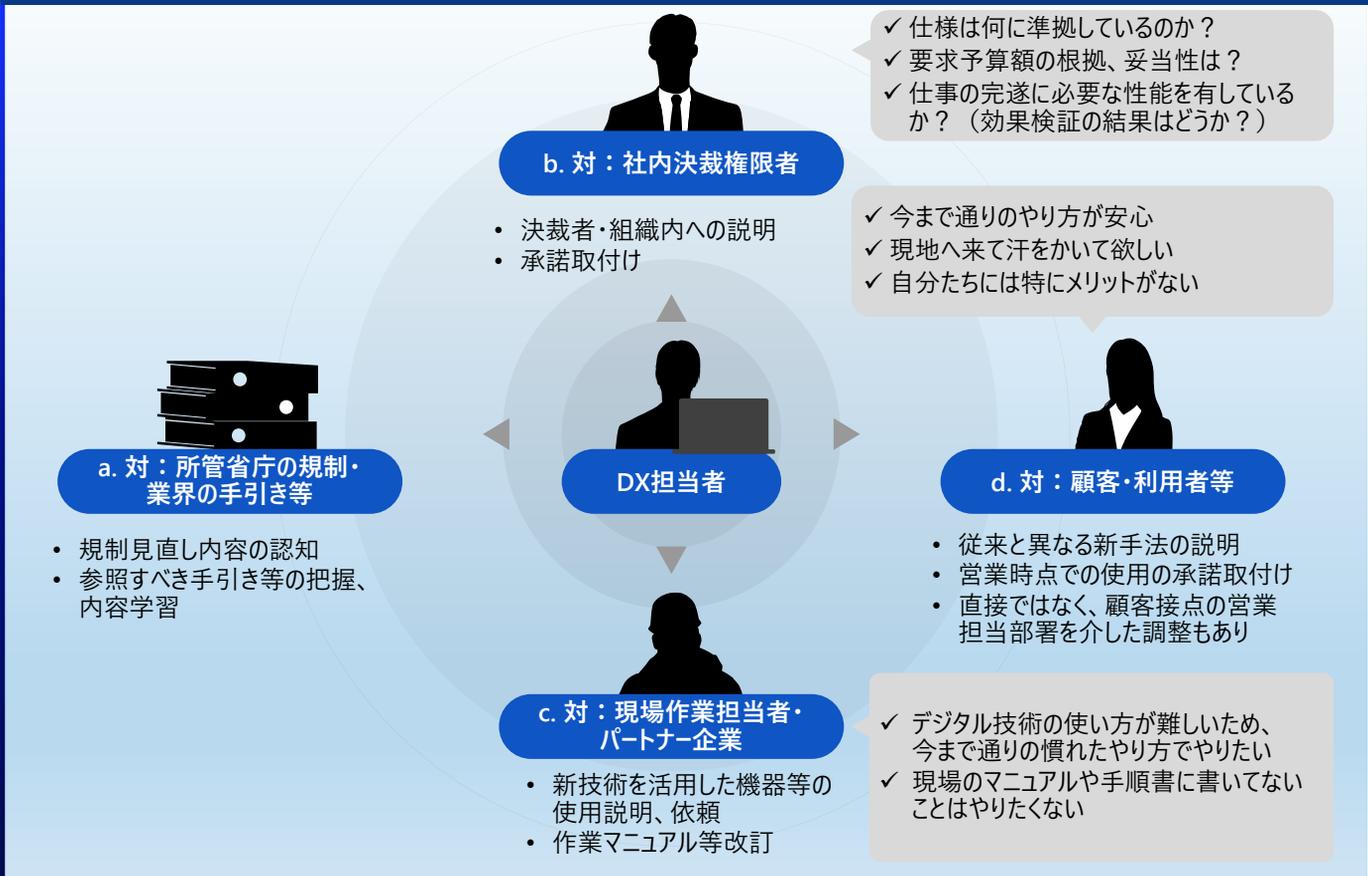
建設業者が遠隔臨場・巡視を実施した場合の年間コスト削減イメージ

※現地での臨場・巡視を年間5,000件行う建設業者が100%リモートで代替した場合

代替可能な 訪問回数 30回/件	×	移動時間 往復2H	×	現場数 5,000件	=	年間の効果 300,000時間削減 (人件費12億円相当)
------------------------	---	--------------	---	---------------	---	-------------------------------------

< デジタル技術導入のカギ >

DX担当者による社内決裁権限者・パートナー企業・顧客との丁寧な合意形成



デジタル技術の活用事例

「SynQ Remote」の活用事例
出所) 大東建託株式会社



「Safie」シリーズの活用事例
出所) 株式会社セーファー



BIM/CIM・360度画像技術の活用
出所) 前田建設工業株式会社



詳細情報は [こちら](#)

デジタル庁
「アナログ規制の見直しとデジタル技術導入に向けたポイント・効果
— 法定業務の実務で使えるデジタル技術 — 【建設・建築業界編】」



デジタル庁
「テクノロジーマップポータル」

